

温州萎縮ウイルスおよびリンゴステム グルーピングウイルスの同時診断キット

果樹苗木分場

1 背景、目的

カンキツの重要病害である温州萎縮病の病原体である温州萎縮ウイルス（SDV）や接ぎ木部異常病を引き起こすリンゴステムグルーピングウイルス（ASGV）を簡易に診断するためにSDVクロマト・キット（平成17年度）とASGVクロマト・キット（平成22年度）を作製しました。しかし、単独のウイルスキットでは、二度の診断操作が必要となります。そこで2種のウイルスを同時に簡易かつ迅速に診断できるキットを開発しました。

2 成果の内容、特徴

- 1) 新たに作製したSDV/ASGVイムノクロマト・キットは、付属の簡易磨砕容器を用いてカンキツ新梢を磨砕し、キット上に4滴滴下することで、SDVとASGV2種のウイルス保毒を同時に診断できます（図1、2）。
- 2) 診断は、検体磨砕液を滴下し、約15分後の発色バンドを観察する方法で行います。従来の単独ウイルス用イムノクロマト・キット同様、容易に診断ができます（図2）。

3 主要なデータなど



図1 SDV/ASGVイムノクロマト・キットの製品



図2 SDVおよびASGVの保毒の有無の判定

注) 簡易磨砕容器によりカンキツ新梢を磨砕後4滴滴下、
約15分後にテストラインの出現の有無により判定。